

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|---------------------------------|
| 事業名 | 北アルプ山麓特産物栽培プロジェクト事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 大北地区農業振興推進協議会 (北安曇地方事務所 農政課) |
| 事業区分 | 農業の振興と農山村づくり |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 590,986円(うち支援金:472,000円) |

事業内容

(1) 北アルプス山麓ピリッとさわやかわさびプロジェクト
北アルプス山麓地域の各所に自生し、かつては採取、あるいは栽培していた「わさび」は、当地域の清らかなイメージに合致するとともに、遊休農地、林間地を活用できる作物です。今後、地域の特産として「わさび栽培(陸、水)」を推進するにあたり、その栽培方法や収量性について試作により確認・実証を行いました。

○試験栽培、生育・収量調査

○研修会、現地講習会、栽培マニュアルの作成

(2) 北アルプス山麓お日様にこにこひまわりプロジェクト
景観形成植物と作物として、北アルプス山麓を訪れるお客様をお迎えするとともに、新たな地域振興作物として収益確保が可能な切り花ひまわりの試作を行いました。

○耕作放棄地への作付、栽培講習会

○ひまわりの収益試算



自己評価(事業実施率)【A】

事業効果

【目標・ねらい】

わさびについては、栽培面積が48aにまで拡大し、米+α品目として、産地化に向けた動きが着々と広がりを見せるまでに至った。平成25年度においては、栽培者が35人にまで拡大しました。また、北アルプス山麓わさび生産組合が設立され独自活動が開始されました。

ひまわりについては、切り花用ひまわりが15a作付けされ、新たな収益作物としての生産拡大が期待できるほか、景観形成作物として1haの栽培が行われ、花が咲いた8月には、黄色い花が観光客をお迎えしました。これらの取組から、わさび、ひまわりともに、北アルプス山麓地域での栽培を開始することにより、新たな地域振興作物としての期待が高まってきました。

- 地域特産物の発掘
- 観光への活用と農業の振興
- 新たな農産物のブランド化

今後の取り組み

より多くの方に参加いただくため、作成した栽培マニュアルを活用し栽培希望者の募集に努めるとともに、大北地域で課題となっている米+αとしての新たな品目として生産者団体とも連携し、新たな農産物としてのブランド化を目指す。

自己評価(事業効果)【A】